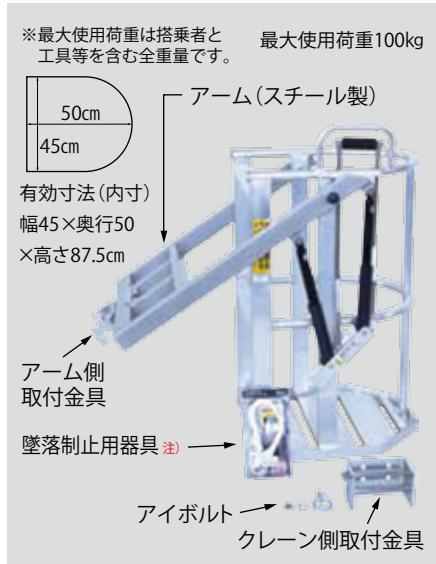
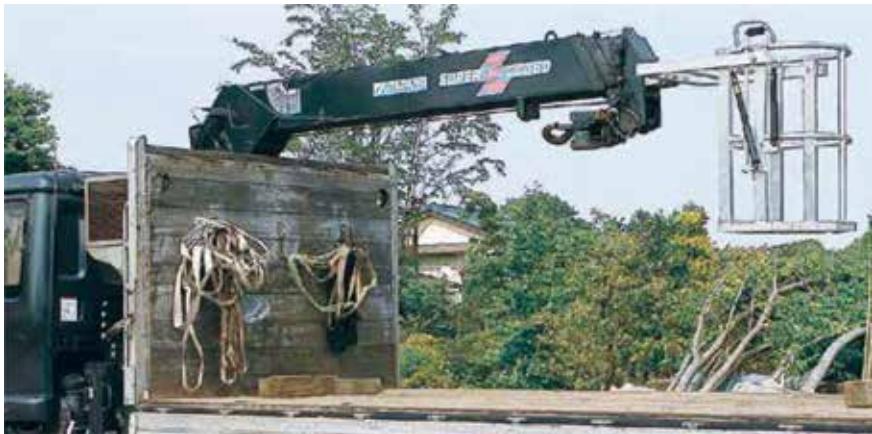


高所作業用ゴンドラ ドラゴン(フリーロック型ガススプリング方式)

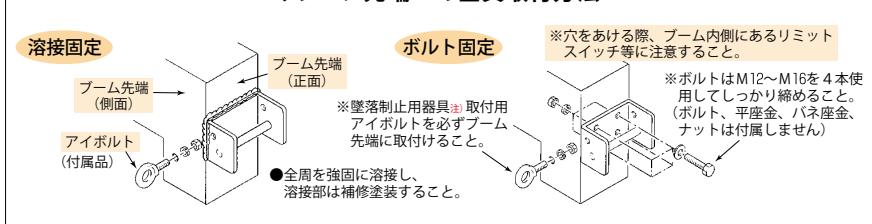


フリーロック型ガススプリングは、アブソーバー式と比べ、ショックを吸収するだけでなく、長さを無段階にロックできる機構ですから、ワンタッチでゴンドラの角度を保持できます。

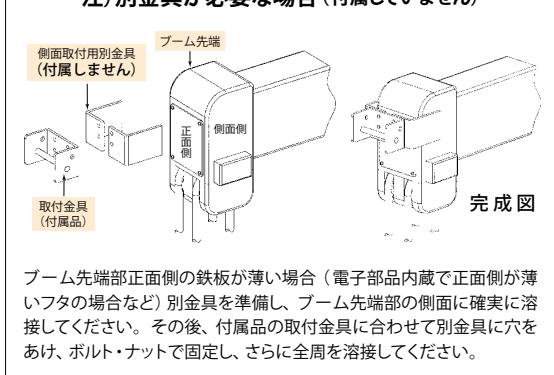
※ アイボルトは必ずブーム先端に直接しっかりと固定し、リングへ墜落制止用器具^(注)の金具を確実に連結してください。

注)クレーンの先にゴンドラを取り付けたまでの走行は禁止です。振動による破損により、重大な事故の原因となりますからご注意ください。

クレーン先端への金具取付方法

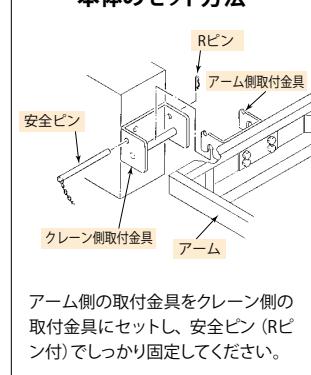


注)別金具が必要な場合(付属していません)



ブーム先端部正面側の鉄板が薄い場合（電子部品内蔵で正面側が薄いフタの場合など）別金具を準備し、ブーム先端部の側面に確実に溶接してください。その後、付属品の取付金具に合わせて別金具に穴を開け、ボルト・ナットで固定し、さらに全周を溶接してください。

本体のセット方法



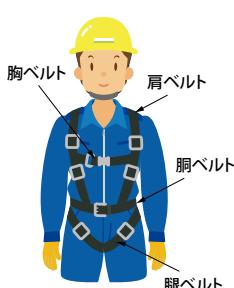
アーム側の取付金具をクレーン側の取付金具にセットし、安全ピン(Rピン付)でしっかりと固定してください。

注意事項 ^(注)墜落制止用器具(旧名称:安全帯)について

弊社ではドラゴンGD-5045に改正構造規格に基づく「胴ベルト型(一本つり)」の墜落制止用器具を付属品として準備しました。

注意!! ただし2019年2月から墜落制止用器具は「フルハーネス型」を使用することが原則となりました。例外としてフルハーネス型の着用者が墜落時地面に到達するおそれのある場合(高さが6.75m以下※ただし一般的な建設作業の場合は5m以下等)は「胴ベルト型(一本つり)」を使用できます。よって、この例外を除く高さ以上でご使用の場合は改正構造規格に基づく「フルハーネス型」の墜落制止用器具を別途ご準備頂きご使用ください。

*詳しくは労働安全衛生規則等の改正・墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドラインをご覧ください。



フルハーネス型安全帯

複数のベルトで支持されている
→落下時の衝撃が分散される



胴ベルト型安全帯

胴ベルトだけで支持されている
→落下時の衝撃が大きい